



幼魚や若魚は集団になって泳ぐ習性があり、その様が「ゴンズイ玉」と呼ばれる。 全長：約10cm

ゴンズイ科 ゴンズイ属

【全長】20cm

# ゴンズイ

学名：*Plotosus japonicus*

## 分布域

中部地方以南の本州・四国・九州に分布する。

## 生息域

沿岸部・港・漁港・内湾などに群れて生息する。



背鰭と胸鰭の棘条に猛毒があり注意が必要。

ナマズに似た体形の周縁魚で幼魚は汽水域にも侵入する。4対8本の白い口髭を持つ。体色は茶褐色で4本の明瞭な黄色～白色の縦条が特徴的。腹部は白い。第2背鰭と臀鰭は尾鰭と融合する。第1背鰭と胸鰭の棘条は強固で強い毒があり、刺さると体質によっては命にも関わる。幼魚～若魚までは群で行動し、成魚になると単独行動に変わる。数十匹が群れて泳ぐ様を「ゴンズイ玉」と呼ぶ。食性は動物食性で小魚や小型の甲殻類を食べる。産卵期は6～7月。オスが海底に産卵床を掘り、粘着性のない沈性卵を産む。産卵後にオスは卵と産卵床を保護する。

水槽での飼育には海水を用い、餌はアミエビや冷凍赤虫を与える。

## 在来種

## 周縁魚

※ 海岸線や港・漁港などで釣れる。汽水域にも侵入する。背鰭・胸鰭の棘条部に猛毒があり、不用意につかみ刺されると大変痛い。体質によっては命の危険もあり注意が必要。